

5. 甲信越（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (甲信越)	◎	その他サービス 〔葬祭業〕（経営者）	お客様の様子	・今月は1人暮らしの高齢者からの依頼が多い。また、市の福祉課からの依頼も増えている。親族が遠方からやってきて、最期のお別れも少人数でしている。
	○	自動車備品販売店（従業員）	来客数の動き	・来客数、客単価共に、前年超えの状況であり、景気は回復してきていると感じている。
	□	コンビニ（経営者）	販売量の動き	・来客数は若干減っているものの、客単価が若干上向いている。ただし、トータルでの売上はやや厳しい。
	□	衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・街に活気がなく、客も消費意欲がない。
	□	家電量販店（店長）	来客数の動き	・今月は大雪の影響もあり、売上、来客数共に減少している。
	□	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・車検及び一般整備は、前年同月期とほぼ同じ推移で、良くも悪くもない状況である。車両販売は、例年なら年度末に向けて上向く傾向だが、新型コロナウイルスの影響で客の買い控えを感じる。
	□	都市型ホテル（支配人）	来客数の動き	・国内の新型コロナウイルス感染者発生から1年たったにもかかわらず、終息の兆しが見えない。2度目の緊急事態宣言も発令され、宿泊業ではせっかく入った予約がキャンセルされ、新規予約も入らず、大打撃が続いている。G o T o E a tのチケット販売も停止され、館内の飲食部門も休業したままで、再開の見通しが立たない。
	□	通信会社（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染拡大が一層広がっており、この先に対する不透明感が増大し、加入や解約も止まっている。
	□	通信会社（社員）	販売量の動き	・異動のシーズンを控えており、人の動き自体は活発になる。ただ、特別に上向く要素も少ないため、現時点では横ばい状態である。
	□	ゴルフ場（経営者）	お客様の様子	・降雪や寒波もなく、順調に予約は入っている。また、新型コロナウイルス感染予防対策をした上で、高齢の客も元気にプレーをしている。
	□	設計事務所（経営者）	来客数の動き	・仕事の依頼数は多く、相変わらず人手が足りていない。
	▲	商店街（代表者）	来客数の動き	・新型コロナウイルス禍では商店に行くことも不要不急で自粛するムードになっており、来客数がますます少なくなっている。しばらくの間は静かにしているよりほかに方策がない。
	▲	商店街（代表者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの影響で、客が買物に出なくなったことや学校のクラブ活動等がなくなったため、来店客がいないに等しいほど悪くなっている。
	▲	一般小売店〔家電〕（経営者）	お客様の様子	・地域発行のプレミアム付商品券等もほぼ動きが止まり、商材の動きも緩やかになってきている。これと言って消費者の購買意欲を誘うものもなく、厳しい状況は続きそうである。
	▲	一般小売店〔家電〕（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響か、客の動きが少ない。
	▲	百貨店（営業担当）	来客数の動き	・外出自粛要請で、来客数が減っている。
	▲	スーパー（経営者）	それ以外	・業績は緊急事態宣言による巣籠り需要で堅調だが、パートやアルバイトの希望者が多くなっている。
	▲	スーパー（経営者）	それ以外	・新型コロナウイルスの発症率が上がり、地域独自の緊急事態宣言が出て、客の危機感を感じている。
	▲	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・買上点数は増えているものの、来客数は減っている。
	▲	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・当県での新型コロナウイルス感染者が増えてきており、客は敏感に反応して外出をしなくなっている。
▲	コンビニ（店長）	お客様の様子	・特に、1月に入ってからだが、週末の土曜日は何とか売上はあるものの、日曜日は巣籠り傾向が強くて、なかなか今までのようには売上が増えていかない。	
▲	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・年初からの大雪、再度の緊急事態宣言等の影響もあり、来客数が激減し、新車販売も需要期らしい伸びがない。	

▲	高級レストラン (経営者)	来客数の動き	・新型コロナウイルス感染拡大で、県独自の警戒レベルが6段階の5に上がったため、市内でも不要不急の外出自粛のアナウンスがされている。客足は遠のくばかりで、2～3名の会食予約も入らない。
▲	都市型ホテル (スタッフ)	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大による緊急事態宣言の発令があり、人の動きが大幅に減少している。Go Toキャンペーンの一時停止による影響もあり、回復傾向から一転し、悪い方向となっている。
▲	ゴルフ場(経営者)	それ以外	・新型コロナウイルスの感染再拡大によって、宿泊、飲食業等は、いよいよ持ちこたえられない状況になってきている。
▲	住宅販売会社 (経営者)	お客様の様子	・緊急事態宣言の影響で、やや悪くなっている。
×	商店街(代表者)	来客数の動き	・Go Toキャンペーンの中止や緊急事態宣言再発令で、人の流れが止まってしまっている。店舗売上は前年の3分の1に届かない。
×	百貨店(店長)	販売量の動き	・元々苦戦しているところに緊急事態宣言が出て、主要な顧客である高齢者の来店が極端に少なくなり、売上の減少が大きくなっている。
×	スーパー(経営者)	来客数の動き	・1月は前年比で売上が12%減、来客数は15%減となっている。新型コロナウイルスの影響で、地域のイベント中止で仕事の依頼がないことが、売上減の一因である。病院への野菜の納品が1日約2万円あっても12%減なので、純粋な店頭販売だけなら更に売上は減少しているのではないかと。早く収束してもらいたい。
×	スーパー(副店長)	それ以外	・他の方々と同じ回答になってしまうと思うが、緊急事態宣言の再発令や、飲食業への時短要請、外出自粛等を行っても、一向に回復の兆しが見えない。新型コロナウイルス感染への恐怖で、日々心配しながら暮らしているので、景気が良いはずがない。そもそも他のことに興味を持ってない。
×	その他専門店 [酒](店長)	販売量の動き	・非常に悪くなっている。飲食店が全て夜9時以降の営業をしていないため、酒が全く動いていない。さらに、客の動きや販売量も落ちてきて、非常に深刻な状態である。
×	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・「飲食店に行ってはいけない」と言われれば、当然来客数は減る。テイクアウトも、報道されている都会の様子と地方とは違う。
×	スナック(経営者)	来客数の動き	・報道で、「会食がよくない」と言い始めてから、宴会が完全になくなってきている。個人客もめっきり減って、1月の売上は落ち込んだ12月の半分程度である。恐らく、営業しない方が赤字が少なく済むレベルである。何とかランチで売上を作ってる感じなので、ランチにだけはけちをつけないでほしい。
×	観光型旅館(経営者)	販売量の動き	・緊急事態宣言による宿泊業への影響が甚大である。休業要請が出されているわけでもないのに、宿泊予約が全てキャンセルになっている。緊急事態宣言発出が年明けだったので、大みそかから1月2日まではやや宿泊があり、今月の売上は緊急事態宣言が出されるまでの間の売上である。
×	都市型ホテル (スタッフ)	販売量の動き	・法人需要が一番活発に動く1月の新年会等、飲食を伴う宴会が全てキャンセルとなり、前年比10%ほどになっている。
×	旅行代理店(副支店長)	それ以外	・旅行業では客の動きが止まっている。個人、団体にかかわらず、緊急事態宣言とGo To事業の停止により、来店客の激減や旅行自粛が要因となり、年末年始の旅行も受注が止まってしまった。
×	タクシー運転手	販売量の動き	・前月までは比較的順調に、前年比70～80%で推移してきたが、今月は新型コロナウイルスに対する報道などの影響があり、同70%に届かない。
×	観光名所(職員)	来客数の動き	・都市部の緊急事態宣言の再発令と地方の新型コロナウイルス感染拡大により、スキーシーズンだが来客数は激減している。
×	遊園地(職員)	来客数の動き	・1都3県への緊急事態宣言の再発出や宣言エリアの拡大等により、出控えが加速し、大幅な集客減となっている。

	×	その他レジャー施設 [ボウリング場] (経営者)	来客数の動き	・年始は1年の中で一番忙しい時期だが、例年の約半分で、今まで経験したことのないほど客が来ない。年始以降も低調に進んでいる。緊急事態宣言が再発令され、客の動きが一層鈍くなっている。非常に厳しい年の始まりである。
	×	その他サービス [貸切バス] (経営者)	販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大で、需要はほとんどない。
企業動向関連	◎	*	*	*
(甲信越)	○	電気機械器具製造業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・3か月前は良くなかったが、その頃に比べれば、受注は増えてきている。
	○	金融業 (調査担当)	取引先の様子	・当社の業況アンケート調査によれば、企業の景況感は前期に比べ大幅に改善している。業種別でも製造、非製造業共に、改善している。
	□	建設業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・新型コロナウイルスの感染状況がみえないなかで、現状維持がしばらく続きそうである。
	▲	食料品製造業 (総務担当)	受注量や販売量の動き	・最繁忙期を過ぎて反動が予想される。現状、新型コロナウイルスが沈静化する兆しもなく、消費には陰りが見えること等もあり、やや悪化している。
	▲	金融業 (経営企画担当)	取引先の様子	・緊急事態宣言の再発出があり、当県では1月25日から飲食店の時短営業要請が出る等、新型コロナウイルス関連の自粛要請が多い。観光、飲食業等は大きな打撃を受けると考える。
	▲	新聞販売店 [広告] (総務担当)	受注量や販売量の動き	・外出自粛や時短営業など様々な取組をしているなかで、経済活動としての受注量は減っている。新型コロナウイルス感染拡大防止と経済とのバランスは非常に難しく、取引先も憂慮している。
	×	食料品製造業 (製造担当)	競争相手の様子	・観光客が来ないので、飲食店、ホテル等からの発注が上がってこない。スーパーも落ち着いている状態が続いている。
	×	食料品製造業 (営業統括)	受注量や販売量の動き	・緊急事態宣言の影響により、業務用の出荷が大幅に落ち込んでいる。一部個人消費は伸びたものの、大変厳しい状況に置かれている。
	×	出版・印刷・関連産業 (営業担当)	受注量や販売量の動き	・当地区は本当に新型コロナウイルスの影響で冷え切っている。受注量は前年の半分である。
	×	窯業・土石製品製造業 (経営者)	取引先の様子	・店頭販売品は元より、特注品の受注も全くななくなっている。
	×	その他製造業 [宝石・貴金属] (経営者)	受注量や販売量の動き	・1月13日から開催された展示会は、直前の緊急事態宣言再発出の影響で、全国からの来場者が70%減となった。開催直前で出展を取りやめた業者や売上が見込めずに会期中で閉店した業者もいた。その後は緊急事態宣言の対象地域拡大で、出張も難しくなり、売上は前年比40%減となっている。
雇用関連	◎	—	—	—
(甲信越)	○	—	—	—
	□	職業安定所 (職員)	周辺企業の様子	・Go To Travelキャンペーンの一時停止や緊急事態宣言再発出も、状況が悪化したのは宿泊業や飲食業と限定的である。特に、緊急事態宣言は、対象都道府県ではなかったこともあり、影響は余り聞こえてこない。
	□	職業安定所 (職員)	求人数の動き	・小規模事業所を中心に雇用調整助成金の利用は多く、全体として求人数に大きな変動はない。
	□	民間職業紹介機関 (経営者)	求人数の動き	・業務量に企業間格差が目立っている。新規採用に消極的な姿勢が続いている。
	▲	人材派遣会社 (営業担当)	それ以外	・金曜日等の会社帰りに駅前で買物をする客が異常なほどいない。到底、経済が動いているとはいえない。
	▲	求人情報誌制作会社 (経営者)	求人数の動き	・新型コロナウイルスの影響により、周辺企業の求人は大きく減少している。介護、福祉業界では、現在でも募集広告を掲載している企業はある。
	▲	職業安定所 (職員)	採用者数の動き	・採用活動が慎重になっており、マッチングは難しくなっている。
	×	*	*	*